

2022年1月31日

リジェネフロ株式会社に投資実行

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）を有限責任組合員として、中信ベンチャーキャピタル株式会社（代表取締役社長 川勝 哲夫）を無限責任組合員（ファンドの運営者）として設立された「中信ベンチャー・投資ファンド6号投資事業有限責任組合」は、リジェネフロ株式会社を実施した第三者割当増資に投資家として参加し、投資を実行いたしましたのでお知らせいたします。

今後も地元ベンチャー企業への積極的な支援を通じて、地域の活性化に努めてまいります。

記

《投資先企業の概要》

企業名	リジェネフロ株式会社
代表者	石切山 俊博
事業内容	腎疾患治療薬の研究開発・生産・販売
所在地	京都市左京区吉田下阿達町 46-29 京都大学医薬系総合研究棟
設立	2019年9月20日
投資金額	20,002,000円

《投資先企業について》

同社は、京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 増殖分化機構研究部門の長船健二教授の研究成果を基に、2019年9月に設立されたベンチャー企業です。長船教授は胎生期の腎前駆細胞の一種であるネフロン前駆細胞の存在を世界で初めて発見したのを皮切りに、iPS 細胞からネフロン前駆細胞を高効率に作製する技術の確立などに成功してきました。

長船教授が発明した iPS 細胞由来ネフロン前駆細胞は、動物実験において腎障害を改善する効果を示しています。同社は今後、iPS 細胞由来ネフロン前駆細胞を有効成分とする細胞医薬の実用化に取り組み、慢性腎臓病 (CKD) を適応症とする承認取得を目指します。

以上